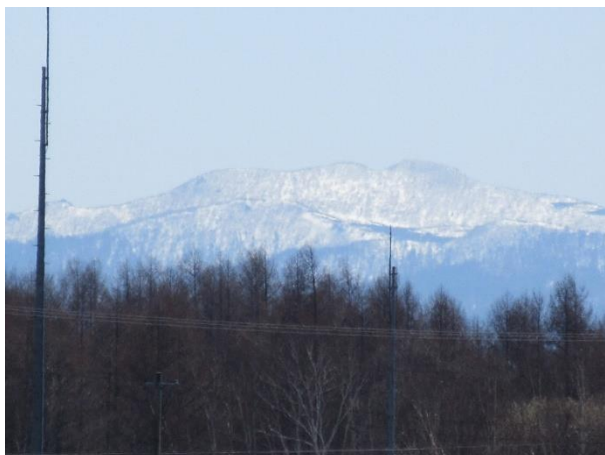


栃の木からの手紙

2024年 皐月 5月号



5日： 立夏

8日： 新月 旧 4月 1日

20日： 小満

23日： 満月 旧 4月 16日

4月6日、雪解け後の小麦畑に足音を聞かせながら畑の状態を確認して歩き回っていたら、この春初めてヒバリの囀りを聴きました。

春の農作業で何時から畑に入れるのか？毎年気がもめる時期。今年は、9日の降雪が翌日夕方には融けて11日からそれぞれの畑で施肥作業を始めました。作業を始めて藻琴山の中腹に「人」という文字が倒れた状態で浮き出ているのが見えている。藻琴山のこの「人」文字模様は春の農作業の後半になる頃（仕事に疲れた頃）に見え始めると考えていましたが、今年は違う。

今年は、農協のコントラクター課のトラクタ作業を15日から20日までお願いしてあるのでそれに向けて作業を進めています。また、ビートの移植作業は、例年より早めて25日から研修生を予定しています。

早めに始めた農作業は、15日から更に加速して翌16日からは一般食用芋の播種作業を始めました。（今迄で一番早い）。

18日芋の播種作業の中、午後から小雨模様になり夕方4時で芋の播種作業を中止し、農協職員の整地作業も今日で中止にしました。この後1週間小雨模様で畑での作業はできなくなりました。

19日、「穀雨」を迎えびつたりの小雨。作物にとってこれから訪れるであろう旱魃に耐え得る体や環境を整える恵みの雨。そう思ったら今のうちにできる事を進めておこう。



13日、研修生2名の方に赤ビートの種蒔きをしてもらいました。128穴トレイ72枚。約1反分の育苗です。17日朝に発芽を確認

認してミニコンを並べたハウスの中で広げて育苗中です。移植は5月中旬予定。



土壌水分や日射による温度の関係で地面から水蒸気（地霊）が立ち上るのを見る時がある。また、ヒバリが鳴き始めると天候の好転の兆し。そんな自然界の動きを感じながらビートの移植作業は予定より1日遅れて4月26日昼から始まりました。途中日曜日は芋播種、30日は昼から雨の為ビートの移植作業は中止。ハウスの中で赤ビーツの間引きを行いました。5月3日13時頃仕事を始めようと準備する中、ほんの5分ほど先の見えない砂嵐に見舞われました。この日、ビートの移植作業が完了しました。



了しました。藻琴山の人文字は、雪解けとともに見えなくなっていました。

5月4日からは、ビートの補植作業の為の就労センターからの手伝いが入っています。作業をしてもらっているうちに、芋の播種作業を進めています。5月5日で芋の播種作業は完了。残す作業は、有機JAS畑の蒔き付け作業。下表は過去の有機JAS畑の作付けの状況。

2023年 209a	R5	ひまわり	シドー・ターフ	とうや	ノーザン・ルビー	きたあかり	食用ビーツ	さやあかね	緑肥 緑肥				
2022年 209a	R4	ひまわり	シドー・ターフ	とうや	ノーザン・ルビー	きたあかり	さやあかね	食用ビーツ	緑肥				
2021年 209a	R3	ひまわり	食用ビーツ	きたあかり	とうや	さやあかね	ノーザン・ルビー	シドー・ターフ	休閒緑肥				
2020年 209a	R2	ひまわり	とうや	きたあかり	さやあかね	黒大豆	シドー・ターフ	ノーザン・ルビー	食用ビーツ	レウス			
2019年	H31R1	ひまわり	シドー・ターフ	ノーザン・ルビー	きたあかり	とうや	さやあかね	黒大豆					
2018年	H30 204a	ひまわり	とうや	ノーザン・ルビー	シドー・ターフ	さやあかね	きたあかり	黒大豆					
2017年	H29	ひまわり	きたあかり	ノーザン・ルビー	シドー・ターフ	とうや	黒大豆	さやあかね	とうや				
2016年	H28 199a	ひまわり	メークイン	シドー・ターフ	ノーザン・ルビー	とうや	きたあかり	さやあかね	小麦	黒大豆			
2015年	H27 153a	ひまわり	さやあかね	きたあかり	シドー・ターフ	ノーザン・ルビー	とうや	ノーザン・ルビー	きたあかり	サッシー	キカラシ	大豆	加味チヤ
2014年	H26 147a	ひまわり	サッシー	大豆	コーン	さやあかね	シドー・ターフ	ノーザン・ルビー	きたあかり	とうや	きたあかり	かぼちや	
2013年	H25 136a	ひまわり	サッシー	さやあかね	とうや	シドー・ターフ	ノーザン・ルビー	きたあかり	早きた	早とうや	黒大豆		
2012年	H24	ひまわり	サッシー	さやあかね	ノーザン・ルビー	シドー・ターフ	きたあかり	とうや	キャベツ				
2011年	H23	ひまわり	サッシー	さやあかね	きたあかり	とうや	少量芋						
2010年	H22	ひまわり	きたあかり	サッシー	とうや	芋							
2009年	H21	きたあかり	きたあかり	スノーデン									
2008年	H20	きたあかり	きたあかり										
2007年	H19	農林											



永年連作を続けてきた有機JAS畑での芋の連作。今年からは、津別町有機酪農研究会へ向けてのデントコーンの栽培に切り替わります。気が付くと李の木が純白に見えています。昨年も5月5日だった。

有機JASの申請は「有機農産物」は取得していますが、「有機飼料」については3月中に申請書を提出しましたが、4月中旬に修正の指摘があり時期的に修正できませんでした。仕事が落ち着いてきたら早めに修正して再提出をして検査を受けないと無駄にデントコーンを作ることになりかねません。